

# 事業報告

## I 法人の概況

### 1 設立年月日

平成8年3月22日

### 2 定款に定める目的

本公益財団法人は、東北地方に研究開発と産業開発の国際拠点を形成し、未来型産業社会を創造することを目標とした東北インテリジェント・コスモス構想に呼応し、自然科学研究に対する助成等を行い、もって学術の振興と地域の発展に寄与することを目的としています。

### 3 定款に定める事業内容

- (1) 自然科学研究に対する助成
- (2) 国際的研究交流に対する助成
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

### 5 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
賛助会員	12名	-1名

### 6 主たる事務所の状況

主たる事務所：宮城県仙台市青葉区南吉成六丁目6-3 ICRビル3階

## 7 役員等に関する事項

### 理事・監事

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
理事長	西澤 潤一	非常勤	東北大学名誉教授
常務理事	齋藤 茂	常勤	事務統括
理事	植木 俊哉	非常勤	東北大学理事
理事	大滝 精一	非常勤	東北大学大学院経済研究科教授
理事	佐々木 淳	非常勤	岩手県政策地域部科学 I L C 推進室長
理事	門脇 克行	非常勤	宮城県経済商工観光部新産業振興課長
理事	今村 欣也	非常勤	仙台市経済局産学連携推進課長
理事	奥山 賢	非常勤	山形県商工労働観光部工業戦略技術振興課科学技術政策主幹
理事	林 千鶴雄	非常勤	福島県商工労働部産業創出課長
監事	沼田 敏雄	非常勤	(株)インテリジェント・コスモス研究機構 常勤監査役
監事	間庭 洋	非常勤	東北六県商工会議所連合会常任幹事

## 評議員

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
評議員	尾坂 芳夫	非常勤	東北大学名誉教授
評議員	宮永 崇史	非常勤	弘前大学大学院理工学研究科長
評議員	船崎 健一	非常	岩手大学工学部長
評議員	滝澤 博胤	非常勤	東北大学大学院工学研究科長
評議員	内田 龍男	非常勤	仙台高等専門学校長
評議員	二見 亮弘	非常勤	福島大学共生システム理工学類 長
評議員	田邊 裕治	非常勤	新潟大学工学部長
評議員	沖沢 進	非常勤	青森県商工労働部新産業創造課 課長代理
評議員	吉田 祐幸	非常勤	宮城県経済商工観光部長
評議員	氏家 道也	非常勤	仙台市経済局長
評議員	高橋 能成	非常勤	秋田県企画振興部学術国際局長
評議員	利根川 雄大	非常勤	新潟県産業労働観光部産業振興 課長

## 8 職員に関する事項

平成 27 年度末現在

職員数		前期末 比較数	平均年齢	平均勤続年数
男子 (常務理事が兼務する 事務局長)	1 名	0	65 歳 3 か月	5 年 0 月

## 9 許認可に関する事項

平成 20 年 12 月に施行された公益法人制度改革により、平成 25 年 3 月に内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団として登記を行いました。

## II 事業の状況

### 1 事業の実施状況

平成 27 年度は、東北インテリジェント・コスモス構想の下に、東北地域の自然科学研究に対する助成、国際的研究交流に対する助成事業を実施するとともに、研究報告書評価委員会において平成 26 年度助成事業の研究実績評価を行い、有望シーズの発掘を目的として継続助成を実施しました。

また、財団ホームページの内容拡充を図ることにより、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進するとともに、「財団ニュース」を定期的に発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

#### (1) 自然科学研究に対する助成事業（定款第 4 条第 1 号）

##### ① インテリジェント・コスモス奨励賞への助成（@20 万円×11 テーマ）

東北 7 県の大学等の研究機関に所属している 40 歳(医歯薬系は 42 歳)以下の若手研究者を対象に、独創的研究開発の種（シーズ）を発掘するとともに、東北地域の活性化・発展に寄与するような研究を支援するため、下記 11 テーマに対して「インテリジェント・コスモス奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	金属材料研究所	助教	黒澤 俊介	パイロシリケート結晶の発光材料としての網羅的な研究
東北大学	大学院工学研究科	講師	加藤 俊顕	半導体原子層物質の構造制御合成と光電子デバイス応用
仙台高等専門学校	専攻科	准教授	高橋 晶子	エージェント技術に基づく利用者指向ネットワークシステムの構築
長岡技術科学大学	工学部 機械系	助教	韋 冬	光周波数コムを用いた新たな長さ標準の探索
東北大学	大学院生命科学研究所 脳機能遺伝分野	日本学術振興会 特別研究員	濱田-川口 典子	幹細胞の増殖・分化制御機構の解明
いわき明星大学	薬学部 薬学科	助教	佐藤 陽	蛍光標識ペプチドを用いた新規動脈硬化診断薬の開発
青森県産業技術センター	弘前地域研究所 バイオテクノロジー一部	主任研究員	岩間 直子	青森県産素材を活用した化粧品等美容製品の開発に関する研究
山形大学	大学院理工学研究科	准教授	真壁 幸樹	アミロイド形成配列を移植したモデルタンパク質から明らかにするアミロイド形成機構
新潟大学	医学部 医学科 総合医学教育センター	准教授	渡部 雄一郎	統合失調症の発症に大きな効果をもつリスク変異の同定
東北大学	大学院薬学研究科	講師	森口 茂樹	カルシウムシグナル賦活化によるアルツハイマー病治療法の確立
東北大学	災害科学国際研究所	准教授	有働 恵子	砂浜消失リスクに関する総合的研究

② 実用化研究への助成（@50万円×2テーマ）

東北地域における新産業創出の推進を図るため、平成26年度に行ったインテリジェント・コスモス奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から新事業創出の可能性があると認められる等の評価・調査を行い、評価が高いものに対し継続して助成を行いました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	未来科学技術 共同研究センター	准教授	鎌田 圭	新規 GAGG シンチレータを用いたサブミリ解像度 PET 検出器の開発
岩手大学	工学部	助教	西川 尚宏	水を加工液とする工作機械系の電気防錆加工法システムの総合的開発

(2) 国際的研究交流に対する助成事業（定款第4条第2号）

国際学会への助成（@10万円×6件）

国際的研究交流を東北地域全域において促進し、科学技術の発展と独創的学問の進歩向上に資するため、東北地域における各種国際会議6テーマに対して助成しました。

催事名	主催者	開催期間
第6回日中若手のための有機化学シンポジウム	第6回日中若手のための有機化学シンポジウム 組織委員会 東北大学大学院薬学研究所・教授 山口雅彦	平成27年9月6日(日) ~ 平成27年9月9日(水)
国際色覚学会 第23回シンポジウム (略称: ICVS 2015)	ICVS 2015 組織委員会 (開催責任者) 東京工業大学 大学院総合理工学研究所 教授 内川 恵二 (会計処理責任者)山形大学大学院理工学研究所 准教授 永井岳大	平成27年7月3日(金) ~ 平成27年7月7日(火)
The 12th International Conference on Hypernuclear and Strange Particle Physics (HYP2015)	HYP2015 組織委員会、 東北大学理学研究科 東北大学大学院理学研究科・教授 田村裕和	平成27年9月7日(月) ~ 平成27年9月12日(土)

<p>東アジアにおけるレジリエントでサステナブルな都市・建築環境の実現に関する国際セミナー (Joint-seminar on resilient and sustainable built environment in East Asia)</p>	<p>東アジアにおけるレジリエントでサステナブルな都市・建築環境の実現に関する国際セミナー実行委員会  東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻・教授・持田 灯</p>	<p>平成 27 年 11 月 4 日(水) ～ 平成 27 年 11 月 6 日(金)</p>
<p>The 20th International Workshop on Electromagnetic Nondestructive Evaluation (ENDE2015)</p>	<p>ENDE2015 実行委員会  東北大学大学院工学研究科・准教授・遊佐訓孝</p>	<p>平成 27 年 9 月 21 日(月) ～ 平成 27 年 9 月 23 日(水)</p>
<p>Twelfth International Conference on Flow Dynamics</p>	<p>東北大学 流体科学研究所 ICFD 開催実行委員会 東北大学 流体科学研究所 教授 小原 拓</p>	<p>平成 27 年 10 月 27 日(火) ～ 平成 27 年 10 月 29 日(木)</p>

### (3) その他の事業（定款第 4 条第 3 号）

#### ホームページ等の充実

本公益財団法人の活動状況を広報し、事業活動の充実をしていくため、財団ホームページの充実を図り、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進しました。

また、「財団ニュース」を発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

## 2 重要な契約に関する事項

該当なし

### 3 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 1 回理事会 平成 27 年 5 月 18 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 26 年度事業報告（案）について</li> <li>2 平成 26 年度収入・支出決算報告（案）について</li> <li>3 平成 26 年度監事監査について</li> <li>4 理事長及び常務理事の職務執行状況について</li> <li>5 理事選任候補者について</li> <li>6 評議員会の招集について</li> </ol>	<p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認 (報告事項)</p> <p>(報告事項)</p> <p>(報告事項)</p> <p>原案どおり承認</p>
第 2 回理事会 平成 28 年 3 月 4 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インテリジェント・コスモス奨励賞等の選考について</li> <li>2 平成 27 年度事業執行状況について</li> <li>3 平成 27 年度予算執行状況について</li> <li>4 理事長及び常務理事の職務執行状況について</li> <li>5 平成 28 年度事業計画（案）について</li> <li>6 平成 28 年度収支予算（案）について</li> <li>7 常務理事の報酬等に関する規程及び役員服务等規則の一部改正について</li> </ol>	<p>(報告事項)</p> <p>(報告事項)</p> <p>(報告事項)</p> <p>(報告事項)</p> <p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認</p>

#### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 1 回評議員会 平成 27 年 6 月 12 日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 26 年度事業報告（案）について</li> <li>2 平成 26 年度収入・支出決算報告（案）について</li> <li>3 理事の選任について</li> <li>4 評議員の選任について (報告事項)</li> <li>1 平成 27 年度事業計画書について</li> <li>2 平成 27 年度収支予算書について</li> </ol>	<p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認</p>

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回選考委員会 平成27年6月30日	報告事項 1 平成27年度助成事業について 2 第14回インテリジェント・コスモス奨励賞授与式について 3 平成26年度実用化研究助成者の事業実績書について 協議事項 1 第15回インテリジェント・コスモス奨励賞推薦要項等について	原案どおり承認
第2回選考委員会 平成27年11月16日	1 選考 (1) インテリジェント・コスモス奨励賞についての選考 (2) 実用化研究助成についての選考 2 協議 (1) 国際学会への助成応募要項(案)について	10件を選考  2件を選考  原案どおり承認
第3回選考委員会 平成28年2月10日	1 選考 (1) 国際的研究交流に対する助成事業 国際学会助成の選考について 2 協議 (1) 平成28年度助成事業について (2) 第15回インテリジェント・コスモス奨励賞授与式等について	5件を選考  前年度の事業継続を了承 授与式を平成28年5月16日実施に関する事務局案を了承

(4) 研究報告書評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
1 研究報告書評価委員会 平成27年8月19日	1 研究報告書の評価及び実用化研究助成候補者の選考について	候補者2名を選考

#### 4 正味財産増減の状況及び財産の状況

単位：千円

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
経常収益合計	9,767	8,651	8,835	8,785	8,685
経常費用合計	7,390	8,931	8,793	8,610	9,355
当期正味財産増減額	2,377	-280	42	175	-670
資産合計	454,952	454,672	454,714	454,889	454,219
負債合計	0	0	0	0	0
正味財産	454,952	454,672	454,714	454,889	454,219

### Ⅲ 法人の課題

法人会計のスリム化等により財団運営資金を確保すること。

### Ⅳ 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

現行の、監事による監査体制を継続実施すること。

### Ⅴ 株式保有している場合の概要

該当なし